

石川県七尾美術館だより

No.102

令和2年 夏

ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM



展覧会スケジュール変更について

「新型コロナウイルス感染症」の影響により、展覧会やイベントの予定を変更しております。詳細は本紙記事をご覧ください。

なお今後の情勢によりましては、さらに予定が変更される可能性があります。最新情報は当館ホームページ等で順次お知らせいたします。

伝えゆく池田コレクションの魅力

6月27日(土)～9月13日(日) 休館日：毎週月曜日(8月10日を除く)、8月3日～7日、8月11日

平成7年(1995)4月に開館した当館は、今年春に25周年を迎えました。これもひとえに、多くの皆様のご支援・ご協力があったることと、改めて御礼申し上げます。

さて、当館の建設、開館は、大きな2本柱があつて実現しました。1つが能登七尾出身である長谷川等伯の文化財を公開すること。そしてもう1つが、当館所蔵品の中核を成す、この「池田コレクション」を広く公開し、後世に伝えていくことでした。

本展では、池田コレクション289点より日本画・彫刻・工芸作品を、《第1期》《第2期》に分け、それぞれ2テーマで紹介いたします。この機会に、長年愛され伝えられてきた池田コレクションの数々を、ゆつくりとご堪能ください。

《池田コレクション》

七尾市出身の池田文夫氏(1907～87)が蒐集した美術工芸品で、昭和63年(1988)にご遺族より125点が七尾市に寄附されたことに始まります。その後、節目の年ごとに5回の追加ご寄附を受け、現在その点数は289点に及んでいます。ジャンルは書・日本画・工芸・彫刻と多岐にわたり、時代も中世から現代まで幅広い内容です。

《第1期》6月27日(土)～8月2日(日)

～日本画・彫刻を中心に～
～美濃焼と漆工を味わう～

第1のテーマは宮川長春の肉筆画や菱田春草ほか日本画と、高村光雲や平櫛田中などの彫刻作品に、高橋介州の金工作品や氷見晃堂の木工作品などを加え、計27点を展示します。

また、第2のテーマでは、当コレクションの中でも特に充実している、志野織部・黄瀬戸と

いった美濃焼と、味わい深い根来などの漆工作品の、計43点を紹介します。



「納涼美人図」宮川長春



「美濃伊賀水指」



「猛虎図」大橋翠石

《第2期》8月8日(土)～9月13日(日)
～うつつわバラエティ～
～イケコレでZOO～
数多の「うつつわ」に満ちたこの世界。私たちは、常に多彩なそれらに囲まれています。第1のテーマ「うつつわバラエティ」では、やきものや漆の「うつつわ」の数々計40点を展示。そして第2のテーマは「イケコレでZOO」。こちらは動物たちが主役です。動物が何らかの形でモチーフとなった作品を、絵画や工芸などより計30点を紹介します。



「色絵捻文八角鉢 吉田屋窯」(部分)

※掲載画像は全て「池田コレクション」です。

観覧料

	一般	個人	団体
大高生	280円	350円	280円
		220円	

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

長谷川等伯展 ～収蔵品にみる等伯と長谷川派～

9月19日(土)～10月25日(日) 休館日：毎週月曜日(9月21日を除く)、9月23日(水)

能登七尾出身で桃山時代に大活躍した絵師・長谷川等伯(1539～1610)。当館では等伯やその一門「長谷川派」を重要テーマとして、毎年作品や関連史料などを紹介する展覧会を開催しています。

本年も「春の特別展」として準備を進めておりましたが、「新型コロナウイルス感染症」拡大を受けて実施を断念するに至りました。

しかし展覧会開催を望む声が度々寄せられたことや、平成8年以来毎年欠かさず継続している主要展覧会であることなどに鑑み、やはり実施すべきとの結論に到達。会期と内容を変更し、秋に改めて開催することとなりました。いわば「仕切り直し」の「等伯展」です。

「長谷川等伯展」再始動

本紙前号でもご紹介しましたが、当初は「能登の信春―The time of young Tohaku」というタイトルだった本展。等伯若年期制作の仏画などを中心に、計42点を展示予定でした。

しかし「新型コロナウイルス感染症」の感染防止のため外部からの作品借用が難しいことから、本展では展覧会規模を縮小。出品作品を当館の所蔵品と寄託品に限定し、計27点からなるラインナップに変更しました。

あわせて展覧会タイトルも一新し、「収蔵品にみる等伯と長谷川派」としています。

展示内容

当館では平成7年の開館以降、約25年間にわたり等伯や「長谷川派」の作品・関連史料などの収集を継続してきました。その間多くの方々のご配慮・ご協力により、現時点で当館には等伯や「長谷川派」絵師の作品が、所蔵品と寄託品をあわせて約40点収蔵されています。



(上)「松竹図屏風」、(下)「猿猴図屏風」
ともに長谷川等伯、当館蔵



「日蓮聖人像」
長谷川宗清(道浄)
輪島市・成隆寺蔵



「海棠に雀図」
長谷川信春(等伯)
個人蔵

その中から今回セレクトされた27点は等伯の前半生、「信春」と名乗っていた頃の仏画をはじめ、養父の宗清(1507～71)や養祖父との説もある無分(生没年不詳)、そして能登の一門とされる等誉(？～1636)の作品など。作者は能登ゆかりの「長谷川派」絵師が中心で、いずれも貴重な面々が集います。

それらの名品をおして、約400年前の彼らの活躍ぶりに想いをはせてください。

観覧料

	個人	団体
一般	500円	400円
大高生	350円	300円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

貸館催し物案内

●市民ギャラリー●(入場無料)

第25回七尾日創展

日時：7月9日(木)～12日(日)

初日は13:00から・最終日は16:00まで

主催 日創会

連絡先 三宅厚史 ☎0767-77-1368

今後の
展覧会
お知らせ

2020
イタリア・ボローニャ国際絵本原画展

11月6日(金)〜12月13日(日) 会期中無休

毎春、イタリアの古都ボローニャで開催される世界最大規模の児童書専門見本市「ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェア」。会場では各国の出版者により版權が売買され、新たな児童書の企画が生まれます。このブックフェアが主催する絵本原画コンクールでは世界中から応募された5枚1組のイラストが審査されます。今年は66カ国2574組の応募作品から23カ国75組が入選しました。

残念ながら3月30日からの開催を予定していた今年のブックフェアは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で一度は5月に延期されたものの、イタリアのロックダウンにより中止の決定がなされました。

「ボローニャ国際絵本原画展」ではブックフェアでの展示の機会を失った、今年のコングール入選作品を展示します。また、特別展示『視る』を超えて」ではイタリアにおける視覚障害者に向けた絵本や美術鑑賞の取り組みを紹介予定です。バラエティ豊かで個性に溢れた作品で、物語の世界をお楽しみください。



「My Red Hat」 Rachel Stubbs(イギリス)

令和2年度友の会行事中止のお知らせ

今後の友の会行事につきましては、美術館だよりの発行を除き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、中止とさせていただきます。会員の皆さまには大変申し訳ございませんが、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

なお、ささやかですが、今年度の展覧会招待券(1回限り有効)と、絵葉書として使用できる友の会限定カードをお届けしますので、ご活用ください。



「鐘馗図」富田深仙(大正〜昭和前期)
(池田コレクション)

新型コロナウイルス感染症拡大防止についてのお願い

- 入館時には
- ・必ずマスクの着用をお願いします。
 - ・アルコール消毒液で手指の消毒を行ってください。
 - ・入口での検温にご協力ください。
- 館内では
- ・ほかのお客様と十分な間隔(2メートル以上を目安に)を空けてください。

- ・順路上で立ち止まったりの会話はなるべくお控えください。
- ・作品および展示物(キャプション、パネル)、展示ケース、壁などには手を触れないでください。
- ・展示室内の混雑緩和のため、入場制限を行うことがあります。

ご来館の皆さまへはご迷惑をおかけいたしますがご理解、ご協力くださいますようお願いいたします。

石川県七尾美術館だより No.102

発行日：令和2年7月1日
 発行者：公益財団法人七尾美術館財団
 〒926-0855 石川県七尾市小丸山台一丁目1番地
 TEL.0767-53-1500 FAX.0767-53-6262
<https://nanao-art-museum.jp>

表紙



「根来湯桶」室町時代(15〜16世紀)制作 (池田コレクション)

本品は湯や酒を注ぐ湯桶で、しっかりとした円筒形の胴の上下に籐のような輪をめぐらし、胴部には鶴頸を思わせる曲線の注ぎ口が付く。大きな入隅の提手を加え、上部には鈕のついた蓋があり、底部の3方に刳形脚が付属。長年の使用で表面の朱漆が摩耗し、所々に表れた黒漆とのコントラストが美しく、力強く明快なフォルムと相まって、根来の魅力がよく表れた優品である。